

今年度の学習発表会に向けて

今年度の学習発表会は、（まだ、かなり先の話で恐縮ですが）12月5日（土）を保護者鑑賞日として設定しています。幼児・児童相互の鑑賞日は、4日（金）の予定です。

例年、この学習発表会では、各学年では、児童のどんな姿（学習の成果など）を保護者の皆様にご覧いただくか、各学年担任（もちろん専科教員もです）は毎回結構頭を悩ませています。2年に1回の行事という点も、その悩みに拍車をかける要因の一つになっています。



（写真は先日のチャレンジジャンプの様子です。学習発表会とは関係ありません）

「ならば、毎年やったらよいのでは」というご意見も出そうですが、展覧会との兼ね合いがあるとともに、その準備には、それなりに相当数の時間が必要となるため、現状では、2年に1回のペースを変更せずに計画をしているところです。

学校では、この行事のねらいを「児童の日常の学習成果の総合的な発表を図るとともに、学校生活を豊かなものとする」と位置付けています。その中で、特に「児童の豊かな創造性」「児童の自主性や計画性、協調性」などを育むことを目指しています。特に、以前からある「（学芸会としての）劇」に特化するものではなく、劇を含めて朗読や群読、音楽などの様々な表現活動を発表する場として、各学年では今から計画を立てているところです。

現時点での、それぞれの学年の発表内容の予告をさせていただきます。詳しい題材名などは、現時点では未定です。1年生は「劇」、2年生は「群読・歌」、3年生は「合奏・歌」、4年生は「群読・歌」、5年生は「合奏・歌」、6年生は「劇」をそれぞれ予定しています。なお、園児（幼稚園・保育園）はまだ未定です。

ご覧いただいておりますお気づきになったかと思いますが、各学年の発表が、結構バラエティに富んだものになっています。いわゆる、以前からある「学芸会」とは、やや趣が異なっています。

とはいえ、それぞれの学年が、2クラス合同で1つのものを作り上げていきます。教師に言われたことを言われたとおりにやっているだけでは、楽しい活動にはならないでしょうし、ねらいにあるような「学校生活を豊かにする」一つの手立てにはならないと思います。それぞれの学年なりに、児童は協力しながら作り上げていく過程を楽しみ、本番に向かっていくことと思います。

もうすぐ夏休みです。休み明けからは、大きな学校行事が続きます。どうぞ、子どもたちの頑張りを楽しみにしててください。